■科　目	高齢者歯科学・障害者歯科学	■講師名	下山 和弘

II 部２学年　　後期　　１５コマ（1 ｺﾏ 90 分授業）　　総時間 30 時間　　講義 2 単位

■学修概要

高齢者歯科学：超高齢社会を迎え、高齢者の QOL の維持・向上のための歯科からの対応は喫緊の課題である。歯科医療・保健・福祉に関する包括的な学習を行い、高齢者の心身に関する総合的な理解に基づく口腔健康管理の知識・技術を習得する。

障害者歯科学：スペシャルニーズ・障害を有する人を対象とする口腔の健康の維持・向上に関する知識・技術を習得するとともに、種々の専門職種と協働して生活支援、社会参加、QOL の維持・向上に寄与する知識・技術を習得する。

■授業目的、到達目標

高齢者歯科学では高齢者の心身および口腔の特徴、疾患を理解し、障害者歯科学では障害をもった人の心身および口腔の特徴、行動調整法、特別に支援が必要な疾患について理解し、口腔健康管理に必要な知識を修得し、QOL の維持・向上に貢献できる能力を身につける。

■授業方法

講義

■教科書（書籍名・出版社）

歯科衛生学シリーズ／高齢者歯科学　医歯薬出版

歯科衛生学シリーズ／障害者歯科　　医歯薬出版

■成績評価・講義上の注意

学習態度および定期試験の点数で評価する。

今まで学んできた各教科の知識を前提に講義が行われる。

■実務経験

東京医科歯科大学大学院・歯学部および歯学部附属病院にておよそ 40 年間、教育・臨床を行った。

■授業計画（講義の流れ）

1	高齢社会と健康、口腔・咽頭の加齢変化と口腔の疾患
2	加齢に伴う身体的機能の変化
3	生活機能の評価、高齢者の精神・心理
4	高齢者において配慮が必要な疾患（１）
5	高齢者において配慮が必要な疾患（２）
6	高齢者において配慮が必要な疾患（３）
7	高齢者の摂食嚥下
8	障害者と社会
9	コミュニケーション法、行動調整法
10	神経発達症群
11	運動障害（１）
12	運動障害（２）
13	感覚障害、音声言語障害、精神および行動の障害
14	摂食嚥下障害と摂食嚥下リハビリテーション、健康支援
15	定期試験、解答解説